

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第13週 （3月27日～4月2日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第12週の8.13から第13週は6.77と減少しています。県内全域で減少していますが、幡多では引き続き注意報値を超えていることから注意が必要です。

迅速検査ではインフルエンザA型が75.4%、B型24.6%とB型の割合が増加しています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数は第11週の10.33から第12週は7.71と減少しています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2017年第9～13週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く62.0%、次いでB（ビクトリア系統）が25.3%、B（山形系統）8.3%、AH1pdm09が3.3%の順でした。

県内におけるインフルエンザの報告数はピーク時（第5週：50.60件/定点）の約1/7に減少しましたが、幡多では引き続き注意報値を超えているなど、流行は続いていますので、外出後の手洗い等の感染予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生する水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 咳・くしゃみが出たらマスクをしましょう。
- (2) 鼻汁・痰などを含んだティッシュはフタつきのゴミ箱に捨てましょう。
- (3) 咳・くしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗いましょう。
- (4) 咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。
- (5) マスクの装着は説明書を読んで、正しく着用しましょう。

- 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

幡多で注意報値である4.00を超えています。

定点医療機関からの報告数は第12週の1.73から第13週では2.07です。須崎、高知市で急増し、須崎、幡多では注意報値を超えています。特に幡多では8週連続して注意報値を超えています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第12週の3.53から第13週では3.60と横ばいです。県全域から報告があり、中央東、安芸で増加していますので引き続き注意が必要です。

定点医療機関からのホット情報ではロタウイルス14例の報告があり、サルモネラO-9+病原性大腸菌O25腸炎1例、カンピロバクター腸炎1例、感染性胃腸炎1例の報告がありました。

乳幼児や高齢者、体力の低下している方は下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排泄が続くことがあります。

例年、3月から5月頃にかけて乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎の流行が認められるようになります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

調理をする場合には、中心部まで十分に加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●厚生労働省「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

●厚生労働省「ロタウイルスに関する Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/>

○百日咳に気を付けて！

幡多で注意報値である0.10を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第12週の0.00から第13週は0.03と増加し、幡多では0.20と注意報値を超えています。

百日咳は、感染力が強く、軽症でも菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

☆山や草むらでの野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で 3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

春になり山菜採り、キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。この時期、野山に生息するマダニに刺されることで感染症を起こすことがあります。

全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、マダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。（予防するためのワクチン等はありません。）

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出して下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

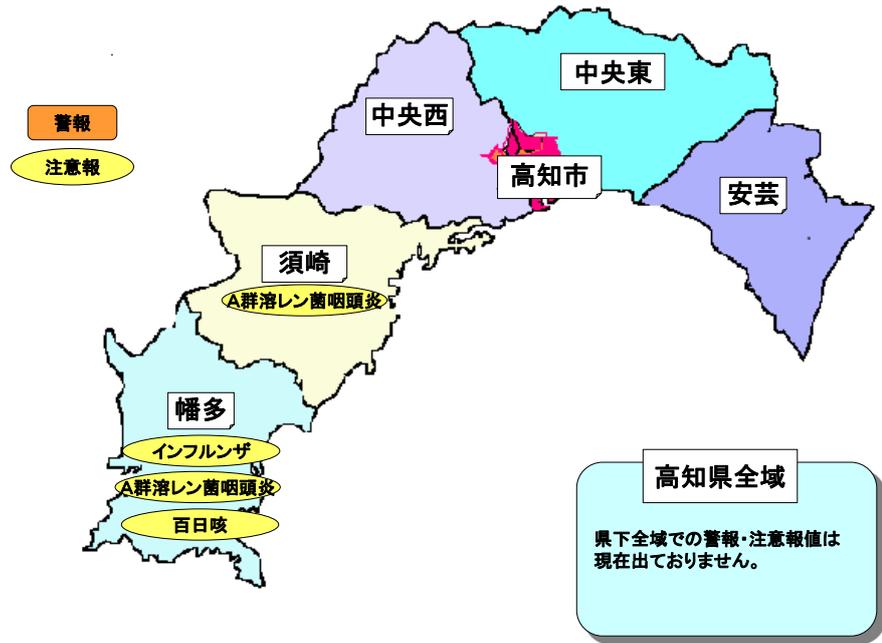
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
13週（3月27日～4月2日）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
インフルエンザ		6.77	県全域、中央東、須崎で減少しています。幡多では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎		3.60	中央東、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		2.07	須崎、高知市で急増、安芸で増加し、須崎、幡多では注意報値を超えています。
水痘		0.47	中央東、高知市で急増しています。
突発性発疹		0.37	安芸、高知市で増加しています。

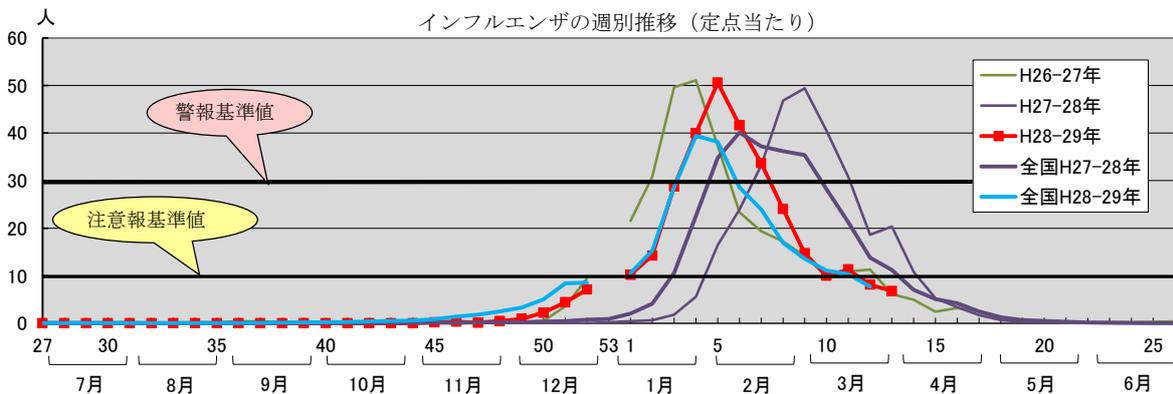
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

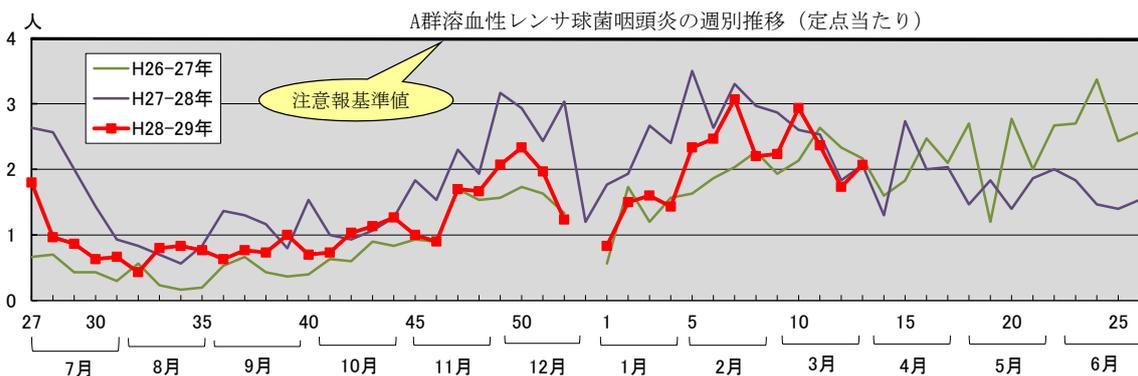
○インフルエンザ 第13週：6.77 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 6.77 (前週：8.13) と減少しています。幡多 10.50 (前週：12.00) では注意報値を超えています。



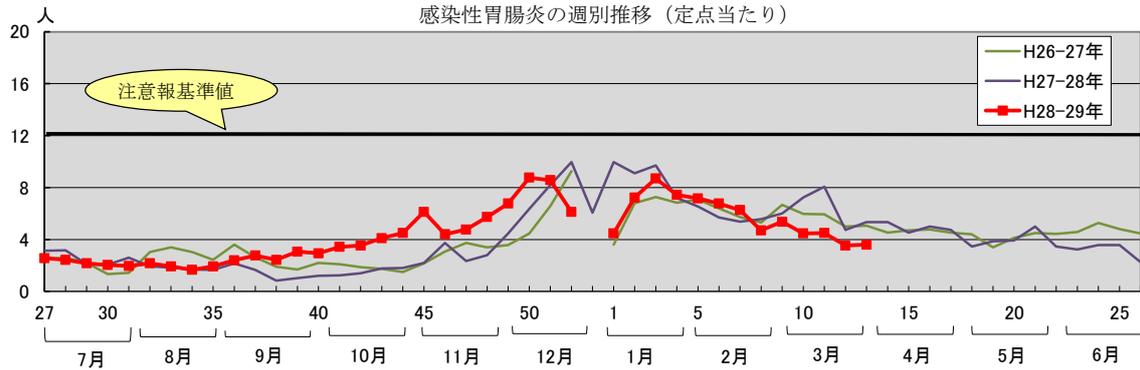
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第13週：2.07 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.07 (前週：1.73) です。須崎 5.50 (前週：0.50) 高知市 2.45 (前週：0.82) で急増、安芸 0.50 (前週：0.00) で増加し、須崎、幡多 4.00 (前週：6.00) では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第 13 週 : 3.60 (注意報値 : 12.00 警報値 : 20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.60 (前週 : 3.53) と横ばいです。中央東 6.29 (前週 : 3.57) 安芸 3.50 (前週 : 2.50) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28 年は第 53 週までであるため、グラフ横軸に第 53 週を挿入しています。

そのため、H26-H27 年と H28-H29 のグラフ第 52 週～第 1 週間に途切れが生じています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2 類	結核	1	22	80 歳代男	中央西
5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	7	60 歳代男	高知市
	播種性クリプトコックス症	1	1	90 歳代女	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	hMP 気管支炎 1 例 (1 歳男) アデノウイルス咽頭炎 1 例 (1 歳男) アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳女)
中央東	早明浦病院小児科	ロタウイルス感染性胃腸炎 土佐町、本山町で流行 13 例 (1 歳女、2 歳男女、3 歳女、4 歳男女、6 歳男 4 人、 6 歳女 2 人、9 歳女) 水痘 3 例 (1、4、7 歳 : うち 1 人は予防接種 1 回済み) インフルエンザ A 型 1 例 (9 歳) RS ウイルス感染症 1 例 (1 歳)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ 2 例とも A 型で 2 名ともワクチン接種済み
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 3 例 (8、9 歳男、9 歳女) ロタウイルス腸炎 1 例 (14 歳男) アデノウイルス扁桃炎 2 例 (1 歳男女) サルモネラ O-9+病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (7 歳男) カンピロバクター腸炎 1 例 (17 歳男)
	高知医療センター小児科	RS ウイルス細気管支炎 1 例 (1 ヶ月男) インフルエンザ 2 例 (3 歳女、6 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 8 例、B 型 1 例 (ワクチン接種済み 1 例) 溶連菌感染症 5 例 水痘 2 例 (6 歳男 : ワクチン済み、7 歳女 : ワクチン未接種)
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1 例 (12 歳男 : 仁淀川町)
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 1 例 (6 歳男) アデノウイルス感染症 1 例 (6 歳女)
	石黒小児科	インフルエンザ A 型 3 例 インフルエンザ B 型 2 例
須 崎	もりはた小児科	溶連菌、ムンプスの流行が続く インフルエンザは終息か
幡 多	さたけ小児科	マイコプラズマ 2 例 (7 歳女、9 歳男) hMPV5 例 (1 歳女、2 歳男 3 人、3 歳男) インフルエンザ 12 例 全て A 型
	松谷内科	溶連菌 +1 例 (33 歳女)

★病原体検出情報

現在、衛生研究所が設置されている高知県保健衛生総合庁舎は改築工事を実施しており、本年3月末に第1期工事が完了し、3月中旬から4月末の計画で新庁舎への検査機器等の移設作業を行っています。この移設作業実施期間中は病原体の検査ができなくなるために4月末までの間の検体の受入（小児科定点、眼科定点、基幹定点）を一時中止させて頂いています。なお、インフルエンザ定点からのインフルエンザ検体の受入については通常通り行っています。

★全国情報

第11号（3月13日～3月19日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核313例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症32例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎7例、A型肝炎5例、つつが虫病1例、デング熱7例、マラリア1例
ライム病1例、レジオネラ症12例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症21例
急性脳炎10例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症9例
後天性免疫不全症候群13例（AIDS 4例、無症候9例）、ジアルジア症1例、
侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性肺炎球菌感染症30例、
水痘（入院例に限る）3例、梅毒54例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、
風しん2例（検査診断例1例、臨床診断例1例）、麻しん9例、
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：E型肝炎2例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症3例、
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症9例、急性脳炎7例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症8例、水痘（入院例に限る）4例
梅毒23例、播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第13週 平成29年3月27日(月)～平成29年4月2日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(12週)	高知県(13週末累計)		全国(12週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H29/1/2～H29/4/2	H29/1/2～H29/3/26		
インフルエンザ	インフルエンザ	9	55	141	26	10	84	325 (6.77)	390 (8.13)	38,231 (7.71)	14,112 (294.00)	1,212,038 (244.46)		
小児科	咽頭結核熱		2	1	1		1	5 (0.17)	2 (0.07)	1,060 (0.33)	69 (2.30)	12,946 (4.09)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	27	2	11	20	62 (2.07)	52 (1.73)	6,597 (2.08)	803 (26.77)	81,780 (25.86)		
	感染性胃腸炎	7	44	34	3	2	18	108 (3.60)	106 (3.53)	15,852 (5.01)	2,226 (74.20)	216,955 (68.59)		
	水痘	1	6	7				14 (0.47)	7 (0.23)	1,138 (0.36)	142 (4.73)	13,680 (4.33)		
	手足口病		1					1 (0.03)	()	336 (0.11)	16 (0.53)	5,417 (1.71)		
	伝染性紅斑			3				3 (0.10)	1 (0.03)	187 (0.06)	51 (1.70)	3,055 (0.97)		
	突発性発疹	1	2	7		1		11 (0.37)	11 (0.37)	1,160 (0.37)	113 (3.77)	14,149 (4.47)		
	百日咳						1	1 (0.03)	()	13 ()	13 (0.43)	270 (0.09)		
	ヘルパンギーナ							()	()	48 (0.02)	2 (0.07)	857 (0.27)		
	流行性耳下腺炎			2		4	1	7 (0.23)	7 (0.23)	1,802 (0.57)	90 (3.00)	24,576 (7.77)		
RSウイルス感染症	1	1	2			2	6 (0.20)	2 (0.07)	577 (0.18)	178 (5.93)	10,993 (3.48)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	6 (0.01)	()	87 (0.13)		
	流行性角結膜炎							()	()	312 (0.45)	6 (2.00)	4,035 (5.82)		
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	14 (0.03)	1 (0.13)	111 (0.23)		
	無菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	15 (0.03)	3 (0.38)	179 (0.38)		
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.13)	1 (0.13)	116 (0.24)	42 (5.25)	2,619 (5.49)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	2 ()	5 (0.63)	70 (0.15)		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							()	1 (0.13)	280 (0.59)	9 (1.13)	1,325 (2.78)		
計	20 (7.75)	112 (13.15)	225 (16.35)	32 (7.20)	28 (11.50)	127 (19.10)	544 (14.04)			67,746	17,881 (417.43)	1,605,142		
前週	17 (6.25)	132 (13.76)	205 (14.42)	43 (10.34)	25 (8.75)	159 (24.40)		581 (14.39)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(12週)	高知県(13週末累計)		全国(12週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H29/1/2～H29/4/2	H29/1/2～H29/3/26		
インフルエンザ	インフルエンザ	2.25	5.00	8.81	5.20	2.50	10.50	6.77	8.13	7.71	294.00	244.46		
小児科	咽頭結核熱		0.29	0.09	0.33		0.20	0.17	0.07	0.33	2.30	4.09		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	2.45	0.67	5.50	4.00	2.07	1.73	2.08	26.77	25.86		
	感染性胃腸炎	3.50	6.29	3.09	1.00	1.00	3.60	3.60	3.53	5.01	74.20	68.59		
	水痘	0.50	0.86	0.64				0.47	0.23	0.36	4.73	4.33		
	手足口病		0.14					0.03		0.11	0.53	1.71		
	伝染性紅斑			0.27				0.10	0.03	0.06	1.70	0.97		
	突発性発疹	0.50	0.29	0.64		0.50		0.37	0.37	0.37	3.77	4.47		
	百日咳						0.20	0.03			0.43	0.09		
	ヘルパンギーナ									0.02	0.07	0.27		
	流行性耳下腺炎			0.18		2.00	0.20	0.23	0.23	0.57	3.00	7.77		
RSウイルス感染症	0.50	0.14	0.18			0.40	0.20	0.07	0.18	5.93	3.48			
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.13		
	流行性角結膜炎									0.45	2.00	5.82		
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	0.13	0.23		
	無菌性髄膜炎								0.13	0.03	0.38	0.38		
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	0.13	0.24	5.25	5.49		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.63	0.15		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								0.13	0.59	1.13	2.78		
計	7.75	13.15	16.35	7.20	11.50	19.10	14.04				417.43			
前週	6.25	13.76	14.42	10.34	8.75	24.40		14.39						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869